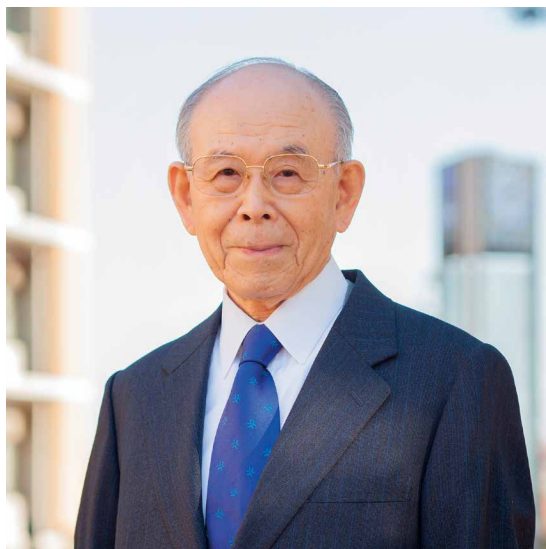


## 赤崎勇 名古屋大学特別教授を偲んで



### ご略歴

1929年鹿児島県生まれ。1952年京都大学理学部卒。神戸工業(現デンソーテン)、名古屋大学助手、講師、助教授を務められ、松下電器産業(現パナソニック)などを経て1981年名古屋大学教授、1992年名城大学教授。2004年名古屋大学特別教授、2010年名城大学終身教授、2015年名城大学特別榮譽教授。1989年に青色LED(発光ダイオード)を発明した功績により、2014年に天野浩名古屋大学教授らとともにノーベル物理学賞を受賞。

名古屋大学特別教授・名誉教授の赤崎勇先生は、2021年4月1日(木)午前、永眠されました。没年92歳でした。赤崎先生と名古屋大学との関わりは2回あります。1回目は1959年から神戸工業株式会社から、当時上司だった有住徹弥先生とともに移ってこられました。2回目は1981年から、松下電器産業株式会社からのご転職でした。ご転職の際、“我一人荒野を行く”思いで続けられた窒化ガリウムの研究は、その後ノーベル財団によれば“インフラを持たない世界15億人を灯す”青色LEDとして実り、照明における省エネルギーの切り札となりました。赤崎先生の残された窒化ガリウムというレガシーは、現在環境問題解決のさらなる推進役として本学を中心に、社会実装に向けての研究が精力的に行われております。

名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授 天野 浩

